

2020年度 文学部・新入生向け

履修登録説明資料

龍谷大学文学部教務課

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

- 大学では、高等学校まで異なり、全員が同じ時間割で授業を受講しません。大学が受講を指定する科目（必修科目）は、全員が履修することになりますが、それ以外の科目は、自分の興味・関心・目的に応じた科目の選択を行うことになります。
- これから、第1学期（前期）の授業が始まるまでに、各自の時間割を決め、「履修登録」という手続きを行う必要があります。

★この資料では、文学部の「履修登録」に関する事項を説明していきます。

すべて、新入生特設サイトからアクセス可能

① 履修要項

4年間の大学での学修に関する事柄を記載した冊子。

配付は入学時のみ。卒業まで大切に保管

(追って冊子版は配付します。履修要項webサイトから閲覧可能です。)

② 新入生履修登録の手引き

1年生前期の履修に関すること、大学生活にあたっての基本的な事項を記載しています。

③ シラバス・時間割

web上で閲覧可能。授業内容・実施される時間帯について掲載。

★大学での学びは、高等学校までと異なり、履修や学生生活に関することはすべて自分に責任で行う。

□各自が履修制度について十分な理解のもとで履修を行うことが求められます。

□履修登録を行う場合には、長期的な履修計画を立て、系統的に科目を履修することが必要です。

※大学で学ぶ上で基本的な事項については、「龍谷大学 学びの手引き（基本編）」で紹介していますので、履修要項や履修登録の手引きを参照しながら、理解を深めてください。

★大学では、高校までとは異なり、問い合わせ（サポート内容）により担当窓口（部署）が異なります。

担当部署・窓口開室時間については、「文学部新生履修登録の手引き」P.4~P.7を確認してください。

例)

授業・履修登録・成績・学籍（連絡先等の変更、休学・退学）関係の窓口

→ 「文学部教務課」

奨学金・落とし物・クラブ、サークル活動関係の窓口

→ 「学生部」

★履修に関する相談

原則として**窓口のみでの対応**とし、電話・メールでの対応は行いませんので、必ず文学部教務課に来室のうえ、相談を行ってください。

本学では90分での授業としています。年間の授業開始・終了時間は以下のとおりです。

	1講時	2講時	3講時	4講時	5講時	6講時
開始時間	9 : 00	10 : 45	13 : 15	15 : 00	16 : 45	18 : 25
終了時間	10 : 30	12 : 15	14 : 45	16 : 30	18 : 15	19 : 55

新入生履修登録の手引き p.8参照

●すべての授業科目には**単位数が設定**されている。

※ 単位数については、「龍谷大学学びの手引き」で詳しく説明していますので、あわせて確認してください。

●履修登録には**登録上限単位数が設定**されている。

※ 文学部での履修登録上限単位数については、別のスライドでご紹介します。

「新入生履修登録の手引き」 p.9を参照

●履修にあたっては、**卒業要件に定められた要件に従って履修**しなければならない。

※ 卒業要件については、「龍谷大学での学びの手引き」で詳しく説明しているほか、文学部における卒業要件に関しては、別のスライドでも紹介します。あわせて確認してください。

●有効な履修登録を行うためには、履修登録要件を充たしていなければならない

履修登録要件については、2020年度履修要項 p.26および「龍谷大学での学びの手引き」で詳しく説明しています。

●履修登録：「科目を履修するための手続き」

※ 履修登録は、年2回（前期：4月、後期：9月）行われます。ただし、4年次生は、年1回の登録となります。

前 期：通年開講科目、第1学期開講科目、サマーセッション開講科目

後 期：第2学期開講科目

「龍谷大学での学びの手引き」
2020年度履修要項 p.18 参照

【科目の開講期について】

科目には以下のとおり開講期が設けられています。

- (1) 前期開講科目（4月～7月に開講される科目）
- (2) 後期開講科目（9月末～1月下旬に開講される科目）
- (3) 通年開講科目（4月～7月／9月末～1月下旬に開講される科目）
- (4) サマーセッション科目（8月下旬～9月上旬にかけて開講される科目）

週に2回開講されるペア科目もあります。

「新入生履修登録の手引き」 p.1ならびに「龍谷大学での学びの手引き」も参照してください。

【履修登録制限単位数について】

半年を1学期と考え、大学は2学期制になっており、半年に1度履修登録期間があります。その際に、履修登録できる単位数には制限があります。

年次	1年次生		2年次生		3年次生		4年次生
学期	(前期)	(後期)	(前期)	(後期)	(前期)	(後期)	通年
履修制限単位数	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	1年間で 48単位

前期に履修登録した通年科目の単位はのうち、半分の単位数は後期の登録単位としてカウントされます。

履修登録画面等で「制限外」および「随意科目」と表示されている科目は、履修登録制限単位数に含まれません。

【卒業要件とは・・・】

「卒業」とは「大学が定める教育課程の修了」を示し、その修了をもって「学士（文学）」の学位が授与されます。

「卒業要件」とは、所定の在学年数（4年）以上在学し、所定の単位（124単位）を定められた授業科目区分の単位数を充足することです。卒業に必要な単位数については、各学科・専攻により、次の頁により定められています。

「履修要項」 p.19-20ならびに「龍谷大学での学びの手引き」も参照してください。

【各学科・専攻の卒業要件単位】

	教養教育科目						学部専攻科目								合計	
	仏教の思想	言語必修	人文基幹	社会基幹	自然基幹	教養選択	普通講義A	普通講義B	特殊講義	講読	基礎演習	演習Ⅰ	演習Ⅱ・卒業論文	選択専攻		フリーゾーン
真宗							12	4	4	4	8	4	8	24	20	124
仏教							8	4	4	8	8	4	8	24	20	124
哲学							4	8	8	8	8	4	8	20	20	124
教育							12	4	4	4	8	4	8	24	20	124
臨床心理	4	12	2	2	2	14	12	4	4	4	8	4	8	24	20	124
東洋史							8	4	4	8	8	4	8	24	20	124
仏教史							8	8	4	8	8	4	8	16	20	124
文化遺産							16	8	4	4	8	4	8	16	20	124
英語英米文							8	4	4	8	8	4	8	24	20	124

	教養教育科目						学部専攻科目								合計
	仏教の思想	言語必修	人文基幹	社会基幹	自然基幹	教養選択	普通講義	特殊講義	講読	基礎演習	演習Ⅰ	演習Ⅱ・卒業論文	選択専攻	フリーゾーン	
日本史							12	4	8	8	4	8	24	20	124
日本語日本文	4	12	2	2	2	14	12	4	8	8	4	8	24	20	124

新入生履修登録の手引き p.8 参照

【卒業要件に該当する科目とは？】

卒業要件として該当する各授業科目の区分と履修の方法については、「履修要項」の「Ⅰ. 教育課程の編成方法」「4. カリキュラム概念図」に全体のカリキュラム（修得すべき単位数）が示されています。

《履修要項 p.37参照》

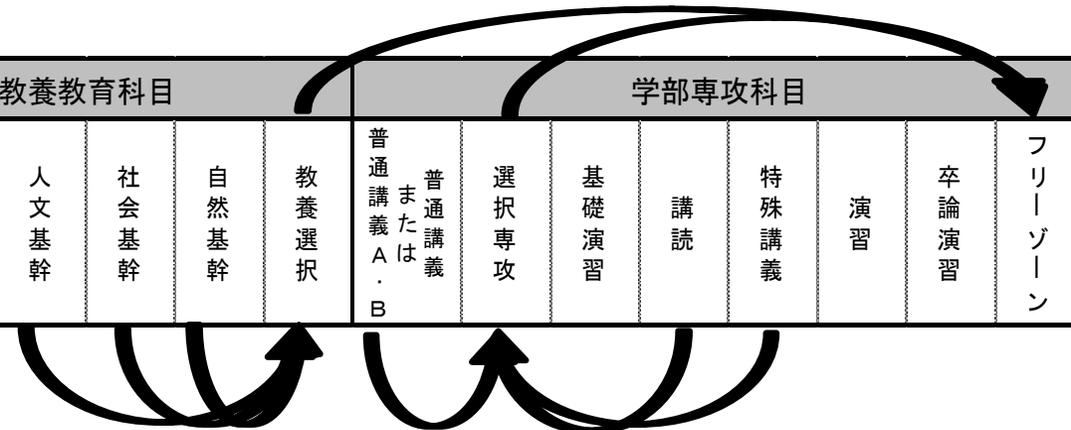
各学科・専攻の科目（専攻科目）の科目区分と履修方法については、「Ⅲ. 文学部専攻科目の教育目的・履修方法」の項目の「カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設一覧」の各学科・専攻の該当箇所に記載されています。《履修要項 p.57-105参照》

Web履修登録画面に「随意科目」と表示されている科目は、卒業に必要な科目として算入されません。

【卒業要件の単位数を充たした場合の取り扱い】

- 卒業要件に定められている単位数を超えて履修した場合、以下のとおりの取り扱いとなります。

	教養教育科目						学部専攻科目								
科目区分 (分野)	仏教の思想	言語必修	人文基幹	社会基幹	自然基幹	教養選択	普通講義 または 普通講義 A・B	選択専攻	基礎演習	講読	特殊講義	演習	卒論演習	フリーゾーン	合計



《教養教育科目》

人文基幹科目・社会基幹科目・自然基幹科目の卒業要件単位各2単位を超えて修得した単位は教養選択科目の14単位の単位として集計されます。教養選択科目の卒業要件単位数も超えた場合はフリーゾーンの単位として集計されます。

例) 人文基幹科目4単位を修得した場合、2単位は教養選択科目の単位となります。

《専攻科目》

「普通講義 (A・B)」「特殊講義」「講読」で卒業要件単位以上に修得した単位は選択専攻科目の単位として集計されます。選択専攻科目の卒業要件単位数も超えた場合はフリーゾーンの単位として集計されます。
(各学科・専攻の「カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設一覧」を参照。)

【時間割を組む①】

●抽選が必要な科目（予備・事前登録の手続きが必要な科目）、必要でない科目で登録可能な24単位を選んでください。必修科目については、あらかじめ登録表示を出しています。各学科・専攻での登録単位数は以下のとおりです。

学科・専攻	必修科目として登録が確定している単位数	各自で選択可能な単位数
真宗学科	8単位	16単位
仏教学科	10単位	14単位
哲学科哲学専攻	8単位	16単位
哲学科教育学専攻	8単位	16単位
臨床心理学科	12単位	12単位
歴史学科日本史学専攻	8単位	16単位
歴史学科東洋史学専攻	8単位	16単位
歴史学科仏教史学専攻	10単位	14単位
歴史学科文化遺産学専攻	12単位	12単位
日本語日本文学科	8単位	16単位
英語英米文学科	10単位	14単位

手引き記載の日程から変更されています。

【時間割を組む②】

- 予備・事前登録が必要な科目を期間内に履修登録する。

4月2日(木)9:00 ~ 4月8日(水)17:00

※システムメンテナンスのため、**毎日20:00~9:00の間は登録できません。**

- 予備・事前登録が登録必要な科目とは・・・

- (1) 教養科目（※一部不要な科目もあります）および選択外国語科目
- (2) 文学部専攻科目のうち、授業規模の関係上、定員を決めて行わなければならない科目

《シラバス・時間割の「備考」欄に、「事前登録が必要な科目」の記載がある科目》

- 予備・事前登録のweb画面では、**抽選が必要となる科目**のみが表示されています。

【時間割を組む② - 2】

- 予備・事前登録で登録可能な科目

第1学期(前期)・第2学期(後期):7科目が上限



要注意！！

- 予備・事前登録で、科目を多くとりすぎないように、【時間割を組む①】のスライド記載の「各自で選択可能な単位数」の範囲内で、登録を行うようにしてください。
- 抽選に通過すると、取り消しができませんので、本登録で履修登録すべき科目をあらかじめ決めたいうえで、登録する必要があります。

【時間割を組む③】

手引き記載の日程から変更されています。

- 予備・事前登録の結果、許可された科目を含めて、本登録期間内に履修登録する。

4月9日（木） 13:00 ～ 4月13日（月） 16:00

※システムメンテナンスのため、毎日20:00～9:00の間は登録できません。

- 予備・事前登録の結果、抽選に落ちた場合・・・

◎現段階では、卒業に影響を及ぼすことはありません。

◎抽選の確定後、定員に余裕がある科目等については、追加受付や本登録で登録が可能となる場合があります

申込を忘れていたり、抽選に落ちたことで極度に不安にならないように！！

【時間割を組む④ - 具体的な組み方 - 】

- 履修登録にあたって、「時間割」の具体的な組み方については、各学科・専攻のモデルパターンを「文学部新入生履修登録の手引き」 p11-12に記載しています。また、履修登録で留意すべき事項については、 p.13-14に記載しています。

【真宗学科、哲学科哲学専攻、哲学科教育学専攻、
歴史学科日本史学専攻、歴史学科東洋史学専攻、日本語日本文学科】合計8単位

※〈歴史学科東洋史学専攻〉基礎演習は通年4単位ですが、前期の登録単位数としては半分の2単位が制限単位としてカウントされます。

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】			英語総合1(B)【1】	基礎演習【2】	
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I			※初修外国語 I【2】	

【時間割を組む④ - 具体的な組み方 - 】

【仏教学科】合計10単位

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】			英語総合1(B)【1】	仏教学基礎演習A【2】	
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I			※初修外国語 I 【2】	
3			仏教漢文入門A【2】			

【臨床心理学科】合計10単位

※〈臨床心理学科〉基礎演習は通年4単位ですが、前期の登録単位数としては半分の2単位が制限単位としてカウントされます。

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】		臨床心理学概論A【2】	英語総合1(B)【1】	臨床心理学基礎演習 I 【2】	
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I		心理学概論A【2】	※初修外国語 I 【2】	
3	英語総合1(A)【1】		臨床心理学概論A【2】	英語総合1(B)【1】	臨床心理学基礎演習 I 【2】	

【時間割を組む④ - 具体的な組み方 - 】

【歴史学科仏教史学専攻】合計10単位

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】			英語総合1(B)【1】	基礎演習IA/IB【2】	
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I			※初修外国語 I 【2】	
3	英語総合1(A)【1】		仏教史学入門A【2】※	英語総合1(B)【1】		

【歴史学科文化遺産学専攻】合計12単位

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】			英語総合1(B)【1】	文化遺産学基礎演習A【2】	文化遺産学概論A【2】
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I			※初修外国語 I 【2】	
3						博物館概論【2】

【時間割を組む④ - 具体的な組み方 - 】

【英語英米文学科】合計10単位

講時	月	火	水	木	金	土
1	英語総合1(A)【1】			英語総合1(B)【1】	英語英米文学 基礎演習【2】	
2	仏教の思想A【2】	※初修外国語 I		EnglishAcademic Writing I A【1】	※初修外国語 I 【2】	
3	★ English Listening A【1】	★ English Listening A【1】				
4	★ English Listening A【1】					

◎必修科目である「English Listening A」は、クラスによって開講時間帯が異なります。履修登録本登録画面にて掲出されます。

【時間割を組む④ - 具体的な組み方 - 】

新入生履修登録の手引き
p.13-19 参照

必修科目以外の時間にどのような科目を登録するか？

- 本登録のみ履修可能である科目をまず考える。
「考えるポイント」は以下の点。
 - ①教職課程を履修し、免許取得を考えている
 - ②真宗学科などで「本願寺派教師資格課程」を履修しようと考えている
 - ③博物館学芸員課程・図書館司書課程の資格取得を考えている
 - ④公認心理師受験資格課程を履修を考えている。
 - ⑤1年生に配当されている科目で、卒業要件を満たすうえで、履修することが望ましいと思われる科目

 **自分の興味・関心、目的に応じた科目選択が重要！！**

【履修登録の方法】

新入生履修登録の手引き
p.10, p.21~24 参照

👉 **webによる登録。登録には、学生証とともに送付された全学認証システムのID・仮パスワードが必要**

- 履修登録の手続きは、必ずパソコンで行うこと。
スマートフォンで行うケースがありますが、スマートフォンでの履修登録は奨励していません。登録を確実に実施するためには、パソコンで行い、適切に「確認」→「登録」→「実行」の処理を実施してください。
- 登録完了後、必ず「受講登録確認表を出力して終了」を押し、受講登録確認表PDFを出力し、各自で印刷保管してください。

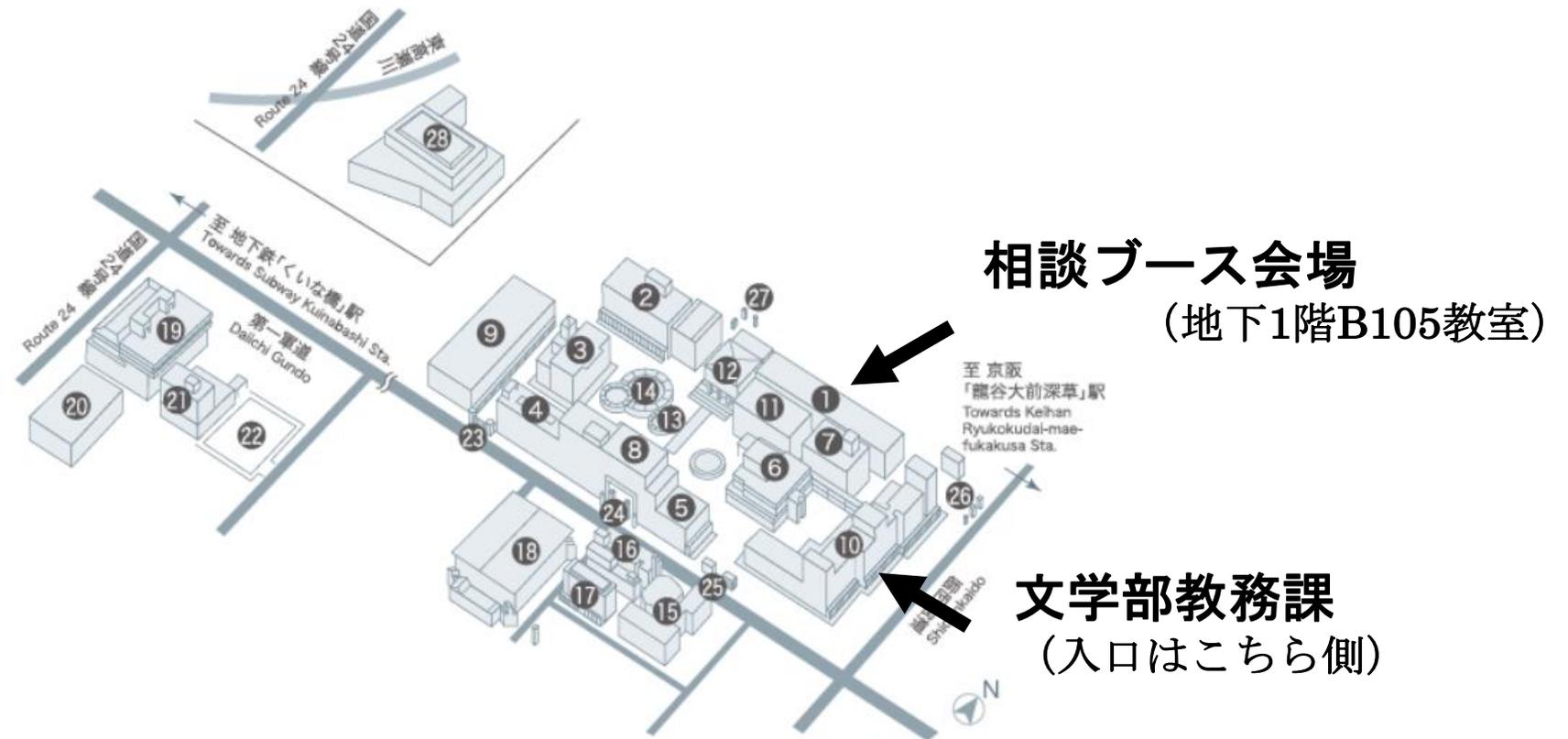
👉 **毎年、登録したつもりになっていて、実際には登録できていなかったというケースがあります。その多くは、登録内容の確認漏れが原因です。最初の履修登録でつまづかないように注意しましょう！！**

【履修相談ブースの設置】

☞ 履修登録等で疑問がある場合、以下の日程・会場で履修相談を受け付けます。

日程	開設時間	会場
4月3日（金）	13：00～15：00	和顔館B105教室
4月6日（月）	13：00～15：00	和顔館B105教室
4月7日（火）	13：00～15：00	和顔館B105教室

○履修登録について—相談ブース会場—



- ①和顔館 ②2号館 ③3号館 ④4号館 ⑤5号館 ⑥7号館 ⑦8号館 ⑧21号館
- ⑨22号館 ⑩紫英館 ⑪図書館 ⑫顕真館 ⑬カフェ樹林 ⑭ステージ ⑮成就館
- ⑯紫朋館 ⑰紫陽館 ⑱体育館 ⑲紫光館 ⑳紫光館別館 ㉑至心館
- ㉒テニスコート ㉓西門 ㉔正門 ㉕通用門 ㉖東門 ㉗北門 ㉘専精館

○その他確認していただきたいこと

① 大学の授業スケジュールについて

新入生履修登録の手引き p.1および p.2に記載しております。

一部、祝日に授業を行う日や変則的に授業を行う日がありますので、注意をしておいてください。

② 学生証について

新入生のみなさんにお送りした学生証は、**本学学生であることを証明**するもので、卒業まで使用します。学生証を使用するケースや注意事項については、履修要項 p.127を参照してください。また、同時にお渡しした「**在籍確認シール**」は学生としての在籍を証明するとともに、通学区間を証明するものですので、裏面に貼っておくようにしてください。このシールは毎年度お渡しします。

○その他確認していただきたいこと

③ 通学定期券について

◎通学定期券は、**「自宅最寄り駅」から「大学最寄り駅」**(文学部1年生は深草キャンパスの最寄り駅)**の区間のみ**で購入することができます。購入にあたっては、大学へ通学情報を届け出る必要があります。転居などで通学区間が変更になる場合は、速やかに文学部教務課へ届け出てください。

◎**「課外活動」や「就職活動」、「アルバイト」等の理由によって通学定期券を購入することはできません。**

◎不適切な通学区間の通学定期券を購入した場合は、**法令に則り、増運賃が請求されたり、本学全ての学生への通学定期券の発行が制限されることもあります**ので、ルールを守り、適切に購入しましょう。

④ 授業を欠席する場合

👉 **新入生履修登録の手引き p.20に記載しています。**

- 高校までのように、あらかじめ事務室に電話連絡等をする必要はありません。また、教員への伝言については、授業当日に発表の担当に当たっている場合を除き行っておりません。
- 次回の授業出席時に直接授業担当の先生に報告してください。報告に際しての用紙が文学部教務課にあります。またポータルサイトからダウンロードできるようになっていますので、それに記入し、先生に報告してください。病気の場合は、診断書があることが望ましいですが、長期での欠席を除き、必ずしもそこまで求めません（ただし、追試験の申し込みの場合は必ず必要です）。
- なお、欠席した場合の成績評価への取り扱いについては各先生方の判断に委ねられていますので、報告時にどのように取り扱われるのかは各自で確認してください。

⑤ 授業が休講となったり、教室が変わる場合

👉 **新入生履修登録の手引き p.20に記載しています。**

- 授業担当者が公務や病気の場合は、高校までであれば、自習になったり、他の科目の授業が行われることがありましたが、大学の場合、「休講」という扱いで、その時間の授業は実施されず、特に指示のない限りは教室に出向く必要はありません。
- 「休講」「教室変更」の連絡はポータルサイトに登録したメールアドレス宛に通知がなされます。また、文学部掲示板にも掲示します。
- ポータルサイトでは「マイ時間割」で内容の確認ができます。

《文学部教務課【6号館（紫英館）1階】》

開室時間

月・水～金 8：45～16：45／火 10：30～16：45

※ 授業・試験期間以外は、11：30～12：30閉室

※ 土・日・祝日、大学の定める休業日は閉室

電話番号 075-645-7893

メールアドレス f-let@ad.ryukoku.ac.jp

※原則として、電話・メールでの履修相談は不可。窓口へ来室してください。ただし、履修に関する事項等で問い合わせる場合もありますので、電話番号は登録しておくことをお勧めします。